

第1章 やさしさと共生するまち

第1節 安心して子どもを生み育てられるまちをつくる

I 子育ての不安と負担の軽減

【目標：安心して子どもを生み、健やかに育てることのできるまちづくりを目指して子育てする人の不安と負担を解消する】

病院内等保育事業補助金 112万5千円

病院などに勤務する職員が安心して働くことができるよう、病院内や事業所内などで保育を行っている団体を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

日胆はまなす里親会補助金 3万円

児童の育成や里親制度の普及啓発などを行っている同里親会を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

放課後児童等衛生・安全対策事業費補助金 7万6千円（うち道5万円）

保育所入所児童の病気の感染を未然に防止するため、病院内や事業所内などで保育を行っている団体の職員の健康診断を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

乳幼児医療費助成経費 9千277万4千円（うち道4千22万2千円）

就学前の乳幼児が、病院などで診療を受けた場合の医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

ひとり親家庭等医療費助成経費 4千86万9千円（うち道1千843万4千円）

ひとり親家庭の母（父）と児童の保健の向上や福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

子育て支援センター運営経費 101万6千円（うち道98万7千円）

育児に不安などを感じている保護者に、育児相談や子育て講座を開催し、保護者の不安解消を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

子育て支援センター事業費 45万円

子育て週間の啓発、子育て情報紙の発行、お父さんの子育て手帳の作成、移動子育て広場を開催するなど、子育て家庭を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

家庭児童相談室・母子自立支援員経費 3万3千円

母子家庭の親や寡婦の自立と児童福祉の向上を図るため、母子自立・家庭相談員を配置します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

災害遺児手当支給経費 84万円

父母などが、交通事故などで死亡もしくは重度の障がいの状態となったとき、その児童を養育する保護者を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

仕事と家庭両立支援事業費（ファミリーサポートセンター事業） 711万9千円（うち国140万円）

保護者の仕事と子育ての両立できる環境をつくるため、ファミリーサポートセンターを開設しています。

センターでは、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行える人（提供会員）の会員登録を行い、依頼会員が残業や急用などのとき、提供会員が子どもを保育所などへの送迎や自宅で預かるなどの事業を行っています。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

こどもショートステイ事業 45万円（うち国13万円）

保護者が病気などにより、児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を、児童養護施設（わかすぎ学園・室蘭市母恋南町）で養育します（利用者は、所得に応じた費用を負担）。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

児童入所施設措置費（助産施設分） 70万円（うち国35万円、道17万5千円）

経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を、助産施設に入院させ、母子福祉の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

産後子育てママ派遣事業費 84万8千円（うち国40万円）

産後間もない家庭で、育児や家事などの支援を行う家族などがいない世帯に、母親の体力的負担や子育ての不安を解消するため、ヘルパーを派遣し安心して日常生活が営めるよう支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

普通保育所運営管理経費 6千69万1千円

共働きや病人の介護などにより家庭における児童の保育が困難な世帯に、安心して子どもを生み育てることのできる環境と、充実した保育サービスを提供します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

幌別東保育所整備事業費 150万円

幌別東保育所の児童の安全を守るため、老朽化した玄関前の階段や手すりなどを整備します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

登別保育所運営管理業務委託経費 6千894万6千円

幼稚園と保育所の長所を取り入れた登別地区幼保一元化モデル事業を行うため、市立登別保育所の運営管理業務を学校法人登別立正学園に委託します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（交流事業） 79万2千円（うち国62万6千円）

保育所入所児童が、人々との交流を学ぶため、高齢者や異年齢児との交流を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（あそびの広場） 67万円（うち国52万9千円）

子育て支援センターで児童の健全育成を推進するため、乳幼児とその保護者を対象に親子遊びや交流を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（障がい児保育） 32万8千円

心身に障がいのある児童の発達を促すため、保育所で健常児と一緒に保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（延長保育） 61万6千円

保護者の勤務地や勤務時間などの都合による保育時間の延長ニーズが増えているため、保育所で延長保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（休日保育） 29万5千円

日曜日や休日に保育所入所児童の保護者が、勤務のため保育ができないときに、富士保育所で児童を保育します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所特別保育事業費（一時保育） 270万円（うち道 86万4千円）

保護者が、一時的に疾病や事故、災害などで家庭での保育ができないときに、児童を登別保育所で保育します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所の広域入所経費 166万2千円

勤務地の関係から、他市町村の保育所へ入所を希望する保護者の利便性を図るため、他市町村の保育所で児童の保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

児童館・児童センター運営管理経費 867万円

安心して子どもを生み、健やかに育つ環境をつくり、地域で担う子育てを支援するため、児童館などに児童厚生員を配置し、遊びを通して児童の健全育成を図ります。

NO	児童館名	住所	電話番号
1	登別児童館	登別東町4丁目19-2	83-3493
2	富浦児童館	富浦町1丁目52-3	83-1987
3	幌別児童館	幌別町4丁目10-3	85-2802
4	常盤児童館	常盤町2丁目34-1	85-1840
5	富士児童館	富士町1丁目1-4	85-7760
6	富浜児童館	栄町2丁目18-4	86-7187

7	美園児童センター	美園町5丁目36-4	86-4591
8	鷺別児童館	鷺別町1丁目36-3	86-2766
9	若草つどいセンター(児童室)	若草町4丁目21-1	86-1208

▶ 問い合わせ 子育てグループ

放課後児童クラブ運営経費 303万6千円

放課後児童クラブは、就労などにより昼間保護者のいない児童が、放課後や夏・冬・春休みの期間中、安心して過ごせる場所として設置しています。

富岸児童クラブ(富岸青少年会館内)、常盤児童クラブ(常盤児童館内)、若草児童クラブ(若草小学校内)、青葉児童クラブ(老人憩の家桜木の家内)

▶ 問い合わせ 子育てグループ

(仮称) 幌別西児童クラブ開設工事費 1千万円

幌別西小学校校舎内に、放課後児童クラブを設置します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園就園奨励費補助金 4千462万8千円(うち国1千85万9千円)

私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、個人市民税の所得割課税額が13万5,000円以下の世帯へ補助金を交付し支援します。

- ・第1子は、5万6,900円から14万500円まで。
- ・第2子は、8万円から18万5,000円まで。
- ・第3子以降は、10万3,000円から25万7,000円まで。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園特別就園奨励費補助金 628万円

私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、入園時に2万円の補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園教材教具費等補助金 240万8千円

市内の私立幼稚園に対し、教材教具の購入資金の一部を補助し、教育内容の充実を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園学校給食指導経費 64万7千円

市内の私立幼稚園に通園する5歳児を対象に、10日間程度の学校給食指導を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園協会教職員研修費補助金 50万円

『登別市私立幼稚園協会』教職員の研修費の一部を補助し、資質の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

II 児童虐待の防止

【目標：安心して子どもを生み、健やかに育てることのできるまちづくりを目指して子どもの安全を確保する】

第2節 市民一人ひとりが生涯を通じて

健康に暮らせるまちをつくる

I 市民の主体的な健康づくり意識の確立

【目標：自らの健康は自らが守るという意識を醸成し、市民が主体的に健康づくりに取り組むことにより健康で元気に生活できる期間(健康寿命)」を伸ばす】

北海道難病連運営事業補助金 5万5千円

難病問題の社会的啓蒙や難病についての正しい知識の啓発を通して、難病患者とその家族の福祉の増進を図る財団法人北海道難病連を支援します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

室蘭地方腎友会補助金 2万円

腎臓病患者の自己管理上の知識習得や予防のための啓発、会員相互の交流などの活動を行っている同腎友会を支援します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

ヘルシークッキング教室経費 7万3千円

乳児期の適切な栄養摂取を推進するため、離乳食教室を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

健康づくり推進協議会経費 5万円

市民の健康づくり推進のため、老人保健法と母子保健法に基づいた実施計画の策定や運営について、協議を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

老人保健事業費

・健康手帳の交付 16万8千円（うち国4万6千円、道4万6千円）

健康管理を推進するため40歳以上の方に、健康データを記録できる健康手帳を交付します。

・健康教育 142万7千円（うち国40万6千円、道40万6千円）

健康の増進や生活習慣病などの知識の向上を図るため、40歳以上の方を対象にした医師や保健師、栄養士による健康に関する講演会などを開催します。

・健康相談 34万6千円（うち国3万2千円、道3万2千円）

生活習慣病についての相談や指導を行い、健康の保持・増進を図ります。

・健康診査 5千716万6千円（うち国610万8千円、道610万8千円）

病気の早期発見・早期治療の促進を目的に、基本健康診査や各種がん検診、C型肝炎検査などを行います。

・訪問指導 32万1千円（うち国5万8千円、道5万8千円）

保健師などが、健康診査で要注意と診断された方を訪問し、保健指導や栄養指導を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

II 保健予防活動の充実

【目標：市民が生涯にわたり心身の健康を確保できるよう、生涯各期に応じた適切な保健予防活動を推進する】

母と子の健康づくり事業費 978万円

・幼児歯科保健対策

フッ素塗布やむし歯予防の健康教室を行います。

・ **乳幼児健康診査**

(4カ月児健康診査、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査)

乳幼児の健康管理と育児支援のため、乳幼児健康診査を行います。

・ **健康相談**

8カ月児などを対象に育児相談、栄養相談を行います。

・ **妊婦健康診査**

妊娠期の健康診査の助成と、健康管理のための保健指導を行います。

・ **母子訪問指導**

保健師が、乳幼児のいる家庭を訪問し保健指導を行います。

・ **健やか親子教室**

赤ちゃん教室やマタニティ教室を開催し、親になる準備の支援や子育て支援を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

予防接種経費 5千455万9千円

乳幼児等の感染症による病気の発生を未然に防ぐため、BCG、ポリオ、麻疹風しん混合、三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）、インフルエンザなどの予防接種を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

エキノコックス症対策経費 49万7千円

肝機能に障害を引き起こすエキノコックス症の感染予防の周知や血清検査などを行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

女性の健康づくり推進経費 86万4千円

検診機会の少ない年代の女性を対象に健康診査を行い、生活習慣病の予防や健康づくりの意識高揚を図ります。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

Ⅲ 地域医療の充実

【目標：市民がいつでも適切な医療サービスを受けることができるよう地域医療体制の確保と救急医療体制を整備する】

地域医療対策等経費 48万2千円

年末年始や日曜日における歯科救急患者の診療を、室蘭歯科医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

広域救急医療対策事業負担金 970万円

休日・夜間における外来患者や重症救急患者の診療を、室蘭市医師会や胆振西部医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

小児救急医療支援事業負担金 260万円

休日・夜間における重症の小児救急患者の診療を、室蘭市医師会や胆振西部医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

自動体外式除細動器購入費 191万5千円

運動中などの『突然死』を防止するため、市内の公共施設に、電気ショックを与えて心臓機能を回復させる自動体外式除細動器（AED）を設置して、救命措置を行う体制を整えます。

平成18年度設置施設

しんた21、市民プール、総合体育館、岡志別の森運動公園、
ネイチャーセンター

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

自動体外式除細動器購入費 58万円

各消防支署に自動体外式除細動器を整備し、救急車が出動などで現地到着に時間を要す場合など、消防車等で現地に向かい、救急車到着までの間、延命措置を行い救命効果の向上を図る。

▶ 問い合わせ 消防本部

救急救命士養成経費 371万6千円

救急体制を確立するため、年次的に救急救命士を養成しています。

平成18年度は、救急救命士を1人養成します。

平成17年度末 救急救命士 16人

▶ 問い合わせ 消防本部

第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

I 地域で支え合う福祉活動の確立

【目標：誰もが地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、地域で共に支え合う福祉の基盤をつくる】

民生委員児童委員協議会補助金 282万6千円

市内6地区の民生委員児童委員協議会の相互連携と活動を支援します。

(登別地区、中央東地区、中央西地区、緑陽地区、美園・若草地区、鷺別地区)

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

民生委員児童委員活動経費 900万7千円(うち道878万5千円)

高齢者や障がい者などの福祉問題の相談者として活躍する民生委員児童委員の活動を支援します。

民生委員児童委員数 129人

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域福祉活動促進事業補助金 1千466万1千円

社会福祉協議会が行う『ふれあいのまちづくり事業』や『ふれあい広場運営事業』などの事業費や、『登別市ボランティアセンター』の運営費の一部を支援します。

・ふれあいのまちづくり事業

市民が、介護やボランティア活動、法律、年金、保健などの生活・福祉問題について相談できる『ふくしなんでも相談』の実施や、ボランティア体験月間などが行われます。

・ふれあい広場運営事業

しんた21を会場にボランティア団体による手話や点字体験、車いすの試乗、ボランティア活動の紹介などが行われます。

・登別市ボランティアセンター(しんた21内)運営事業

ボランティアをしたい方や受けたい方の登録・紹介を行うほか、ボランティアに関する講演会の開催などボランティア活動を推進する機関です。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

社会福祉事業推進補助金 1千82万7千円

社会福祉協議会の福祉事業を推進するため、職員や福祉活動専門員を設置する経費を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

Ⅱ 高齢者福祉の確立

【目標：住み慣れた地域でいきいきとした生活を送る高齢者を増やす】

老人趣味の作業所運営経費 43万8千円

趣味を通じた高齢者の生きがいづくりを行うため、老人趣味の作業所を開設しています。

- ・ 事業内容…陶芸、手芸など
- ・ 場所…幌別町7丁目4-4

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人福祉センター祭経費 21万7千円

老人福祉センターを拠点に活動する各種サークルや老人クラブ連合会の芸能発表、作品の展示などを紹介し、高齢者の交流を図ります。

平成18年度は、9月16日（土）に開催を予定しています。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

長寿祝金等支給経費 45万3千円

高齢者の長寿を祝い100歳になられた方に『長寿祝金』を贈呈します。

平成18年度は、9人に贈呈を予定しています。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

生きがい対策事業補助金 20万円（うち道9万4千円）

登別市老人クラブ連合会が、高齢者の生きがい対策を目的に行う事業を支援します。

- ・ 主な事業…女性リーダー研修会、ゲートボール大会、
グラウンドゴルフ大会など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ連合会補助金 100万円（うち道28万8千円）

高齢者福祉活動の中心的な役割を果たす老人クラブ連合会が行う事業を支援します。

- ・ **主な事業**…高齢者相互支援事業、社会奉仕活動の推進、交通安全、防災対策運動の推進、女性リーダーの育成推進、電話・移送サービス事業など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ連合会40周年記念事業補助金 20万円

高齢者福祉活動の中心的役割を担う老人クラブ連合会の設立40周年の記念事業を支援します。

- ・ **主な事業**…記念式典、功労者表彰、記念誌の発行など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ補助金 424万円（うち道96万2千円）

地域社会に貢献する老人クラブの行う事業を支援します。

（老人クラブ数 47団体）

- ・ **主な事業**…社会奉仕活動、世代間交流、交通安全運動、ゲートボール、パークゴルフ大会、室内ゲーム大会、芸術活動など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

敬老会補助金 830万円

地域に貢献してきた高齢者を祝福するため、町内会などが行う71歳以上の方を対象とした敬老行事を支援します。

平成18年度の対象予定者数は、8千300人です。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

特別養護老人ホーム増築事業資金借入金元利補給金 2千359万6千円

特別養護老人ホーム緑風園に、入浴サービスと給食サービスを行うデイサービスセンターを設置した借入金の補給を行い、在宅寝たきり老人などの家族介護の支援を行います。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人憩の家整備委託経費 900万円

老朽化した『老人憩の家』の維持や補修について、町内会などに委託し整備を行います。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域総合整備資金貸付金（千寿会） 7千万円（うち市債7千万円）

高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、医療法人社団千寿会が行う介護老人保健施設の増築を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域総合整備資金貸付金（三樹） 1億700万円（うち市債1億700万円）

高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、株式会社三樹が行う有料老人ホームの建設を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

外国人高齢者・障がい者福祉給付金 36万円（うち道36万円）

国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障がい者が、安定した生活を送れるよう福祉年金を支給します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（高齢福祉・介護保険担当）

社会福祉法人利用者負担減免助成金 49万8千円（うち道37万3千円）

介護サービスを提供する社会福祉法人などが、生計の特に困難な方の利用者負担額を減免したときに費用の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（高齢福祉・介護保険担当）

配食サービス経費 863万8千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、心身に障がいがあり調理が困難な方に、週2回栄養バランスの取れた食事の提供を行います。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（高齢福祉・介護保険担当）

老人医療費助成経費（道老） 8千182万7千円（うち道4千91万3千円）

北海道は、高齢者の医療費の軽減を図るため、医療費の一部を助成しています。

※この助成制度は、対象年齢を毎年1歳ずつ引き上げ、平成20年3月末で廃止する予定です。

- ・ **道の助成対象**…昭和14年7月31日以前に生まれた70歳未満の一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯、高齢者と児童だけの世帯の方

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

養護老人ホーム恵寿園事業費 4千583万7千円

環境上の理由や経済的な理由により、居宅で養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームに入園させ、個人としての十分な尊重と共同生活の円滑化を図り、公共の福祉に配慮しながら運営します。

▶ 問い合わせ 恵寿園

恵寿園施設整備事業費 1千800万円（うち市債1千350万円）

養護老人ホーム恵寿園は、建築後31年が経過していることから、安全な施設運営を図るため、老朽化している給水・給湯設備の更新を行います。

▶ 問い合わせ 恵寿園

シルバー人材センター補助金 1千万円

高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術などを生かし、就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を図る事業に取り組んでいる同センターを支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

介護保険

・介護認定審査会の運営 743万3千円

保健・福祉・医療の各分野の専門家30人で構成され、介護認定申請者にどの程度の介護が必要となるかを審査します。

・介護認定調査 1千667万8千円

介護認定申請者の介護認定を行うため、介護認定調査員が介護を必要とする方の身体の状況などの聞き取り調査を行います。

・ **介護保険運営協議会の運営 51万5千円**

介護保険運営協議会は、委員10人で構成し、国から義務付けられている『市町村介護保険事業計画』の進行や管理、予算、給付状況についての協議や苦情処理の審査などを行います。

【**地域支援事業**】

・ **介護予防事業費**

介護予防特定高齢者施策事業費 416万7千円

(うち国104万2千円、道52万円)

65歳以上で生活機能が低下している虚弱な方を対象に、通所型または訪問型の介護予防事業を行います。

介護予防一般高齢者施策事業費 76万3千円

(うち国19万円、道9万6千円)

一般の高齢者を対象に、介護予防や健康づくりを目的とした健康教室や健康相談、体力測定会を行います。

・ **包括的支援事業費 3千773万6千円**

(うち国1千528万3千円、道764万1千円)

高齢者が住みなれた地域で自立した生活を送れるように、介護・福祉・医療から生活面までのあらゆる相談・支援を、地域包括支援センターを中心にを行います。

・ **任意事業費 255万円 (うち国103万2千円、道51万6千円)**

高齢者ができる限り在宅で生活していただくために、住宅改修支援事業や家族介護慰労事業、介護用品(紙おむつ)の給付事業などを行います。

【**保険給付**】

・ **居宅介護・介護予防サービス計画給付費 1億1千229万3千円**

(うち国3千45万3千円、道1千403万7千円)

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者の介護支援専門員(ケアマネジャー)に、居宅介護・介護予防サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

・ **特例居宅介護・介護予防サービス計画給付費 120万円**

(うち国32万5千円、道15万円)

要介護・要支援被保険者が、指定居宅介護支援事業者以外の支援事業者に依頼して、居宅介護・介護予防サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

- ・ **居宅介護・介護予防サービス給付費 7億3千994万1千円**
 (うち国2億69万2千円、道9千251万4千円)
 要介護・要支援被保険者が、在宅で訪問看護や通所介護などのサービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **特例居宅介護・介護予防サービス給付費 70万円**
 (うち国19万円、道8万7千円)
 要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由で居宅サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **居宅介護・介護予防福祉用具の購入 678万円**
 (うち国184万円、道84万8千円)
 要介護・要支援被保険者が、購入した腰掛け便座や入浴補助用具など、一部の福祉用具の購入費の9割(限度額10万円)を給付します。
- ・ **居宅介護・介護予防住宅改修費 2千562万3千円**
 (うち国694万9千円、道320万2千円)
 要介護・要支援被保険者が、自宅の手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修にかかる費用の9割(限度額20万円)を支給します。
- ・ **施設介護サービス給付費 14億436万2千円**
 (うち国3億8千86万2千円、道1億7千554万7千円)
 要介護被保険者が、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所し、介護サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **特例施設介護サービス給付費 100万円(うち国27万1千円、道12万5千円)**
 要介護被保険者が、要介護認定の申請前に、やむを得ない理由などで介護老人福祉施設などに入所し、サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
- ・ **地域密着型介護・介護予防サービス給付費 2億4千287万5千円**
 (うち国6千586万8千円、道3千35万9千円)
 要介護・要支援被保険者が、グループホームなどの地域密着型サービスを利用した際に介護費用の9割を支給します。
- ・ **特例地域密着型介護・介護予防サービス給付費 70万円**
 (うち国19万円、道8万7千円)
 要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などで地域密着型サービスを利用した際に介護費用の9割を給付します。
- ・ **特定入所者介護・介護予防サービス費 1億1千930万円**
 (うち国3千235万5千円、道1千491万2千円)
 低所得の要介護・要支援被保険者が、介護保険施設に入所・短期入所した際の食費・居住費の一部を給付します。

・ **特例特定入所者介護・介護予防サービス費 70万円**

(うち国 19万円、道 8万7千円)

低所得者が、要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などで施設サービス・短期入所サービスを利用した際の食費・居住費の一部を支給します。

・ **高額介護・介護予防サービス費 3千30万3千円**

(うち国 821万8千円、道 378万8千円)

要介護・要支援被保険者の利用者負担額の軽減を図るため、一定額を超えた分を所得に応じて支給します。

・ **介護給付費請求書審査支払手数料 411万4千円**

(うち国 111万6千円、道 51万4千円)

要介護・要支援被保険者が、サービスを正しく利用されているかの内容を、国民健康保険連合会に審査してもらうための手数料です。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (高齢福祉・介護保険担当)

Ⅲ 障がい者福祉の確立

【目標：住み慣れた地域で自立した生活を送る障がい者を増やす】

社会福祉施設入所者（児）面会旅費助成 20万円

道内の社会福祉施設に入所している方の家族の経済的負担を軽減するため、面会に要する交通費を年2回まで助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

重度身体障がい者（児）日常生活用具給付事業費 677万2千円

(うち国 338万5千円、道 134万3千円)

重度の障がい者が、日常生活を容易に営むことができるよう生活用具（特殊寝台など）を給付します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

身体障がい者自立更生促進助成事業経費 62万円

事業名	内容
自動車運転免許取得費助成	身体障害者手帳（1～4級）のある方の、自動車運転免許取得費用の一部を助成します
自動車改造費助成	身体障害者手帳（1・2級）のある方で、障がい部位が肢体の方が、就労などのため、自ら所有し使用する自動車の改造する費用の一部を助成します

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

重度心身障がい児介護手当給付費 804万円

心身に重度の障がいがある20歳未満の方を介護している保護者の経済的負担を軽減するため介護手当を支給します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

重度障がい者（児）福祉タクシー関係経費 698万8千円

バスなどの公共交通機関の利用困難な重度の身体障がい者が、タクシーを利用するときの料金を一部助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

身体障がい者自動車燃料費助成金 43万4千円

市から車いすを支給されている身体障がい者で、日常生活に使用する自動車の燃料費のうち、税額相当分を助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

心身障がい者地域共同作業所運営補助金 552万円（うち道276万円）

障がい者の能力を生かした生きがいや社会参加の促進、就業機会の増大を図る活動などを行う作業所を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

手をつなぐ育成会補助金 10万円

知的障がい者に対する理解やボランティア活動などの啓蒙を図り、知的障がい者の自立更生と社会参加活動の促進を図る同育成会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

視力障害者協会補助金 5万円

視覚障がい者に対する理解やボランティア活動などの啓蒙を図り、視力障がい者の自立更生と社会参加活動の促進を図る同協会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

登別身体障害者福祉協会補助金 46万円

身体障がい者の文化活動やスポーツなどを通し、障がい者の社会参加の促進などの活動を行う同協会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

肢体不自由児（者）父母の会補助金 20万円

肢体不自由児（者）の自立更生と社会参加を目的に活動する父母の会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

障害者福祉計画策定経費 15万8千円

障がい者の人権が社会の一員として尊重され、社会のあらゆる分野へ参加や参画することができる、やさしさと共生するまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、『障害者福祉計画』を市民と協働で策定します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

小規模通所授産施設（すずかけ作業所）運営経費 56万円

就職困難な心身障がい者を通所させ、作業や生活の訓練を行い、社会人としての自立を図ります。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

精神障がい者社会復帰施設通所交通費助成金 19万5千円（うち道9万7千円）

精神障がい者の社会復帰や自立、社会経済活動への参加を図るため、通所授産施設や地域共同作業所などに通所する交通費を支援します。

また、地域の方に、精神保健に関する知識の普及や啓発活動を行う室蘭地区精神保健協会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

精神障がい者通所授産施設運営費補助金 126万6千円

相当程度の作業能力を有する精神障がい者に、訓練や指導などの社会復帰のための活動を行う医療法人社団千寿会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

西胆振精神障がい者家族会協議会運営事業補助金 3万円

精神障がい者とその家族の社会的自立を図るための研修会や地域社会とのコミュニケーション、親ぼく会を行う同協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

精神障がい者ボランティア活動支援事業補助金 20万円

（うち国10万円、道5万円）

精神障がい者の社会参加と社会復帰を目指す登別回復者クラブ『ひまわりサークル』が行う活動を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

第55回全道身体障害者福祉大会補助金 100万円

ノーマライゼーション理念の普及と障がい者の社会参加活動の促進を目的に開催する第55回全道身体障害者福祉大会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

第50回精神保健北海道大会補助金 5万円

地域住民の精神保健に関する知識の普及や理解などを目的に開催する第50回精神保健北海道大会を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

重度心身障がい者医療費助成経費 2億341万6千円（うち道6千945万6千円）

身体障害者手帳を交付されている重度（1級、2級、3級【内部障がい】）の障がいのある方や重度の知的障がいと診断された方の医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

のぞみ園運営管理経費 150万6千円

障がい児の日常生活訓練や療育相談などを行い、児童の健全育成を支援します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

障がい認定審査会経費 479万9千円

障がい者の介護給付サービスにあたり、障がい程度区分認定のため審査を行います（委員10人、年間20回を開催予定）。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

施設入所支援介護給付費 4億3千152万9千円

介護要支援の該当になった障がい者の施設入所などにかかる費用を給付します。

身体障がい者施設等入所者 49人

知的障がい者施設等入所者 120人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

居宅介護給付費 4千627万9千円

介護要支援の該当になった障がい者の居宅支援などにかかる費用を給付します。

身体障がい者居宅サービス 93人

知的障がい者居宅サービス 15人

精神障がい者居宅サービス 15人

児童居宅サービスほか 70人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

自立訓練・就労移行支援等給付費 7千420万5千円

介護要支援の該当になった障がい者の自立訓練や就労移行支援などにかかる費用を給付します。

知的障がい者グループホーム 38人

通勤寮 3人

精神障がい者グループホーム 17人

身体障がい者デイサービス 70人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

自立支援医療費 949万円

介護要支援の該当になった障がい者の自立支援医療（更生医療）にかかる医療費を支援します。

身体障がい者の更生医療にかかる見込み人数 78人

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（障害福祉担当）

身体障がい者補装具給付費 2千896万2千円

(うち国1千448万1千円、道305万4千円)

身体障がい者の日常生活で、身体機能を補うために用いる補装具の交付や修理を行います。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

高額障がい者福祉サービス経費 369万6千円

同一世帯の中で、障がい福祉サービスを利用する方がいる場合や、障害福祉サービスを利用している方が介護保険のサービスを利用した場合でも、月額上限額(4区分)は変わらないことから、利用者の負担を軽減するため、これを超えた分を高額福祉サービス費として支給します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ (障害福祉担当)

IV 自立した暮らしへの支援

【目標:生活基盤の弱い立場にある市民の生活安定と経済的自立の促進を図る。ひとり親家庭等の社会参加機会の拡大及び生活の安定を図る】

社会福祉協議会貸付金(たすけあい金庫) 500万円

所得の低い世帯などに、応急援護や高額療養費などの資金を貸し付けし、その世帯の自立更生と生活安定を図る同協議会を支援します。

▼ 問い合わせ 社会福祉グループ

自立支援教育訓練給付金 60万円(うち国45万円)

母子家庭の母が、生活の安定を図るため、職業相談を通じて、自主的に職業能力開発を行う方に教育訓練終了後、訓練給付金を支給します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

災害見舞金 51万円

災害により、大きな被害を受けた市民に見舞金を支給します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

第4節 男女共同参画社会の実現

I 男女の人権が尊重される社会の実現

【目標：男女共同参画社会の実現を図るため、男女の人権が尊重される社会を実現する】

男女共同参画社会づくり推進経費 21万円

女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を発揮しながら、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指します。

- ・ **男女共同参画社会づくりの推進**…『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）』の着実な推進を図ります。男女共同参画講演会、学習会などの開催、男女共同参画を推進する市民団体の活動を支援します。
- ・ **民間シェルター運営補助金**…夫や恋人などの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行っている民間シェルター『ウイメンズネット・マサカーネ』の運営を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

II 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現

【目標：男女共同参画社会の実現を図るため、男女があらゆる分野に参画することができる社会を実現する】

三市合同女性国内派遣研修負担金 21万円

地域で活動している女性を先進地に派遣し、全国各地における女性の社会参加や地域活動、学習活動について研修を行います（参加者は参加経費の一部を負担）。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

婦人活動振興助成金 37万円

市内各地区の婦人会などの団体に構成され、研修会や婦人大会を開催しているほか、地域イベントなどに積極的に参加し、まちづくりの活動を行っている登別市婦人団体連絡協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ